

○中央図書館 (LIC はびきの内) 軽里 1-1-1 ☎072-950-5501
 ○陵南の森図書館 島泉 8-8-1 ☎072-952-2750
 ○羽曳が丘図書館 羽曳が丘西 2-5-1 ☎072-957-5553
 ○丹比図書館 榎山 251-1 ☎072-937-2355
 ○東部図書館 古市 1541-1 ☎072-950-2002
 ○古市図書館 ☎072-958-0050 (休) 10:00 ~ 17:30
 ○ブックステーションはびきのコロセアム ☎072-937-7210 (休) 13:30 ~ 16:30

●開館時間 10:00 ~ 18:00 (※中央図書館は 10:00 ~ 20:00)

☆ 読んでみませんか?

『廃炉「敗北の現場」で働く誇り』

稲泉 連/著 新潮社

東日本大震災から10年。福島第一原子力発電所では、40年かかるといわれている原子炉の解体作業が今も続けられています。そこに様々な形で関わる人々を描くノンフィクションです。



『おすしやさんにいらっやい!』

生きものが食べものになるまで』

おかだ だいすけ/作 遠藤 宏/写真 岩崎書店

みんなが食べているおすしのネタは、もとはどんな魚だったのかな?今日は特別に、おすしやさんが、3種類の魚が「おすし」になるまでのすべての工程を見せてくれるよ。



◇第16回おはなしライブ

日時 4月17日(出) 13:30~
 場所 LICはびきの 3階 音楽実習室
 主催 おはなしボランティアグループ「はびきの」
 定員 30人(先着順)

おはなし会(4月)			今月の特集テーマ
中央図書館	3日(出)、11日(出)、25日(出)	13:30 ~	一般 心地よい家づくり 児童 おみせやさんのほん
陵南の森図書館	4日(出)、11日(出)	11:00 ~	一般 映像化された本、集めました。
	18日(出) 小さい子向き	11:00 ~	児童 むかしのくらし
東部図書館	14日(休)	10:30 ~	みんなのおすすめ本
古市図書館	17日(出)	15:00 ~	ザ・部活!
丹比図書館	24日(出)	10:30 ~	趣味いろいろ
羽曳が丘図書館	10日(出)、24日(出)	15:00 ~	春るんるん♪

中央図書館20周年企画・読書DEビンゴ!

期間 4月1日(休)~9月29日(休)
 場所 中央図書館
 図書館で本を借りると「ビンゴゲーム」に参加できます。ビンゴをそろえたら記念品をプレゼント!

◇おはなし会ボランティア入門講座

日時 5月17日、24日、31日、6月14日の各月曜日 10:00~12:00
 場所 LICはびきの 中会議室B
 講師 羽曳野市子ども文庫連絡会・おはなしの森の皆さん
 申込 4月12日(月)10:00から中央図書館 (電話可 ☎072-950-5501) にて受付
 定員 10人(先着順)

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、中止または延期することがあります。
 ※参加の際は、マスク着用や消毒など、感染症対策にご協力ください。

◇ちびっこサロン終了のお知らせ

市役所・森のゆうびんきよくで実施していた同サロンは、3月をもって終了しました。ご利用ありがとうございました。

今月の休館日は4月30日(金) 市内の図書館は全て休館となります。

サラダボール

コロナ禍の影響により中学生になる息子二人と過ごす時間が増え、話をする機会が増えたのは、このようなストレスの溜まる状況において、貴重な良い時間だと感じていました。しかし、その時間が日常的になるにつれて、子どもたちの行動が気になり注意する機会が増えてきました。脱いだ服をそのままにし、洗濯物も直さず適当に積まれたままで部屋も散らかっている。寝る時間が遅く、朝も中々起きてこない。学校に行く準備ができておらず、拳句は遅刻してしまうこともありました。言い出したらきりがありませんが、子どもたちの言動がマイペースというよりも自分本位にしか見えず、毎日同じ注意を繰り返していました。テスト前に「勉強しなさい」と何度も言うが、全然机に向かわ

ないのと同じように、「○○しなさい」と毎日のように言い続けましたが、もちろん変わりません。それどころか、お互いにストレスが溜まる一方です。

そんななか、通っている中学校の担任の先生より連絡がありました。簡単に言うと、「少し落ち着きがなくて指導する機会がありました。お家でも少し話をしてもらえたら。」ということでした。やってはいけないことだったのでもちろん叱りましたが、なぜそんなことをしたのだろうと考え、どこか恥ずかしくもなってきました。その時、頭の中につっと浮かんできたのが「子は親を映す鏡」ということわざです。「子どものふるまいを見れば、その親がどんな親であるかを知ることができる」という意味ですが、言い換えれば私の言動を子どもが真似たので、私が注意されたような気がしてきたのです。家での行動を何度注意しても変わらないのは、私自身が

できていないからなのだろうと反省しました。思い当たることは多々あります。

そこからは、「○○しなさい。」ではなく、先に自分から動き、「○○やろう。」と言って、一緒にやるようにしています。もちろん、すぐに子どもの様子が大きく変わるわけではありませんが、行動が伴った言葉には説得力が出ることで、また、近くの人から見たり聞いたりしながら、行動を真似て身につけていくことがあるということ、ここ数か月で少なからず感じています。この機会に自分の行動を振り返り、子どもにも影響を与える一人の大人として、今更ですが「当たり前のことを当たり前に」を心掛、大人の立ち振る舞いを子どもたちに見せ続けたいと思います。

はびきの しじんけんけいはつしんきょうぎかい
 羽曳野市人権啓発推進協議会